

一般会計の支出額は90億5,856万円

予算の32.1%を支出済



恵那北小学校プール(長島町)



市道山岡4号線(山岡町)



市道寺田石山線の橋りょう(笠置町)



武並コミュニティセンター(武並町)

一般会計の収入状況

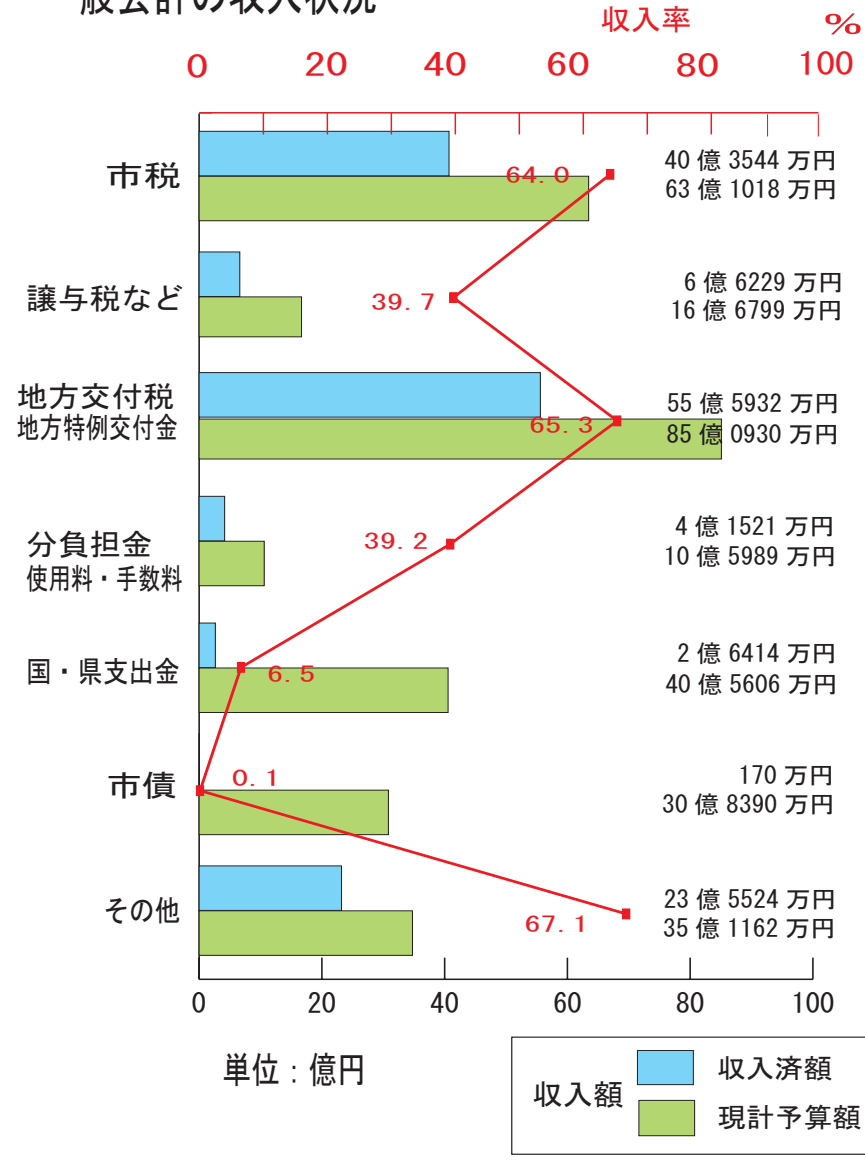
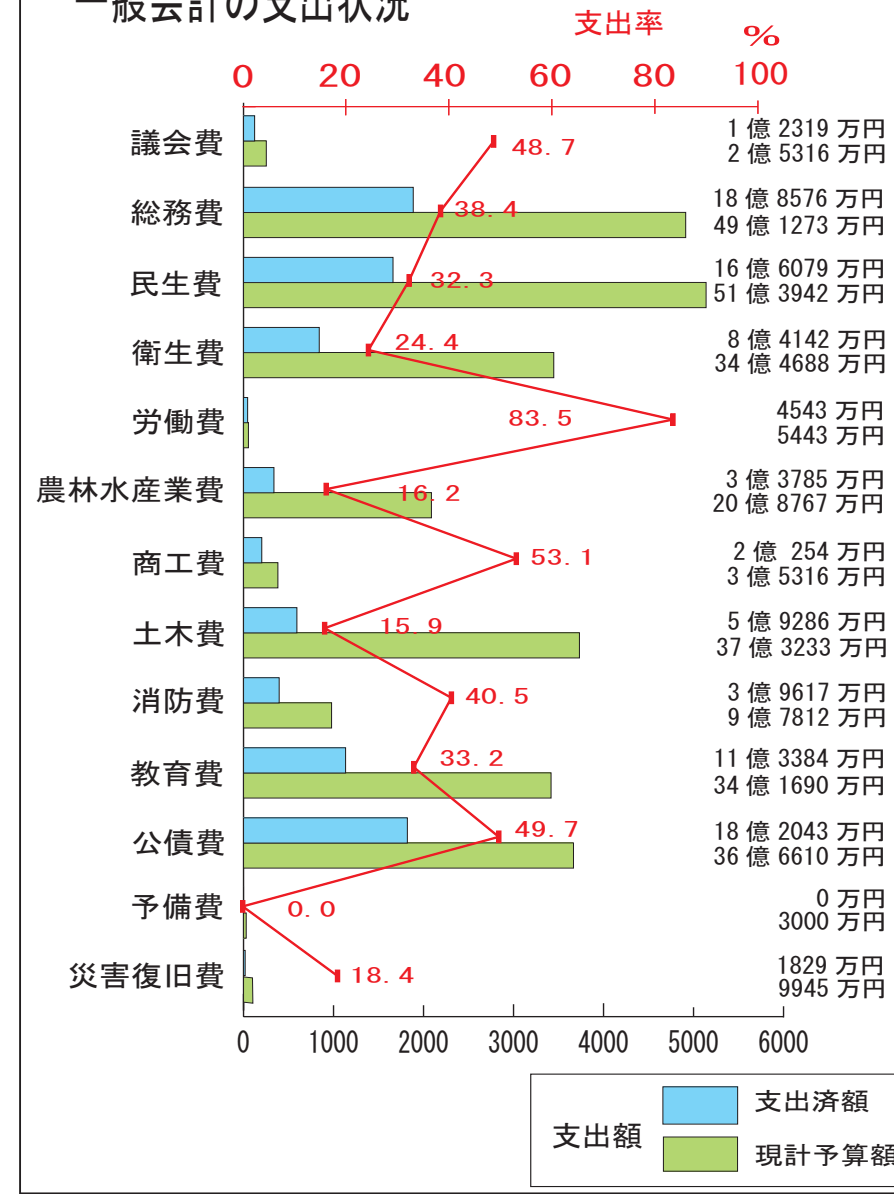


表1 市税の収入状況(9月30日現在)

内 訳	現計予算額	収入済額	収入率	市民1人当収入済額
市民税	20億9,970万円	11億5,097万円	54.8%	2万0,296円
固定資産税	34億4,992万円	23億9,646万円	69.5%	4万2,260円
軽自動車税	1億0,743万円	1億0,683万円	99.4%	1,884円
市たばこ税	3億4,462万円	1億7,748万円	51.5%	3,130円
特別土地保有税	98万円	99万円	101.0%	2円
鉦産税	236万円	93万円	39.5%	16円
入湯税	5,829万円	2,660万円	45.6%	469円
都市計画税	2億4,777万円	1億7,606万円	71.1%	3,105円
合計	63億1,018万円	40億3,544万円	64.0%	7万1,162円

市民一人当たりの額は、9月30日現在の住民基本台帳の人口56,708人(外国人を除く)で計算しています。

一般会計の支出状況



新市の財政公表

平成17年度

市では、市民の皆さんにより一層、市政に対する理解と関心を深めていただくため、年2回市の財政状況を公表します。今回は、平成17年4月1日から9月30日までの半年間の予算執行状況および財産、地方債の状況をお知らせします。

一般会計収入・支出の状況
一般会計支出率は
32.1%

新恵那市で編成した一般会計の総額は、災害などの補正予算により、9月末で総額2億894万円となっており、歳入は1億32億9334万円と47.1%が収入済みとなっていますが、歳入は90億5856万円と32.1%の執行にとどまっています。

収入では、市債や国・県支出金は、事業が完了してから交付されたり、借入れたりすることが多いため、収入率は非常に低くなっています。

市税の収入状況

市税は64%の収入率

市税収入は、年度当初に賦課額を決定して計画的に納めていただいていることから、9月末で64.0%の収納率となっています。

予算額では固定資産税が市税の中で54.7%を占め、市民税は33.3%となっており、この2つの税金が主となっており、市民税も個人市民税は17億350万円、法人市民税は3億9620万円と個人の割合が高くなっています。9月末までの収納状況は、固定資産税が69.5%と高くなっています。

表3 補正の状況(平成17年9月30日現在) 補正額等には繰越事業を含みます。

内 訳	当初予算額	補正額等	合 計
一般会計	273億8,000万円	8億1,894万円	281億9,894万円
特別会計	185億0,020万円	1億0,098万円	186億0,118万円
交通災害共済事業特別会計	2,280万円	0円	2,280万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	45億0,760万円	0円	45億0,760万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	7億4,980万円	407万円	7億5,387万円
老人保健医療特別会計	56億4,200万円	4,503万円	56億8,703万円
介護保険特別会計	36億1,000万円	118万円	36億1,118万円
簡易水道事業特別会計	11億1,170万円	3,640万円	11億4,810万円
農業集落排水事業特別会計	2億7,190万円	175万円	2億7,365万円
駐車場事業特別会計	6,470万円	1万円	6,471万円
温泉事業特別会計	9,370万円	958万円	1億0,328万円
公共下水道事業特別会計	24億2,400万円	296万円	24億2,696万円
遠山財産区特別会計	50万円	0円	50万円
上財産区特別会計	150万円	0円	150万円
企業会計	58億3,443万円	551万円	58億3,994万円
水道事業会計	収益的収入 9億4,390万円 資本的支出 6億5,780万円	15万円 100万円	9億4,405万円 6億5,880万円
病院事業会計	収益的収入 36億2,940万円 資本的支出 1億3,980万円	0円 436万円	36億2,940万円 1億4,416万円
介護老人保健施設事業会計	収益的収入 4億3,490万円 資本的支出 2,863万円	0円 0円	4億3,490万円 2,863万円

表4 予算の執行状況(9月30日現在) 企業会計予算は、収益的収支は歳入、資本的収支は歳出を計上。率もこれに対する割合

内 訳	現計予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
一般会計	281億9,894万円	132億9,334万円	47.1%	90億5,856万円	32.1%
特別会計	186億0,118万円	60億5,948万円	32.6%	79億0,841万円	42.5%
交通災害共済事業特別会計	2,280万円	948万円	41.6%	795万円	34.9%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	45億0,760万円	18億6,309万円	41.3%	18億5,912万円	41.2%
国民健康保険特別会計(施設勘定)	7億5,387万円	2億0,752万円	27.5%	3億1,908万円	42.3%
老人保健医療特別会計	56億8,703万円	22億6,570万円	39.8%	24億5,627万円	43.2%
介護保険特別会計	36億1,118万円	12億0,168万円	33.3%	14億4,296万円	40.0%
簡易水道事業特別会計	11億4,810万円	1億4,456万円	12.6%	2億9,673万円	25.8%
農業集落排水事業特別会計	2億7,365万円	5,890万円	21.5%	8,333万円	30.5%
駐車場事業特別会計	6,471万円	1,995万円	30.8%	2,513万円	38.8%
温泉事業特別会計	1億0,328万円	4,921万円	47.6%	3,153万円	30.5%
公共下水道事業特別会計	24億2,696万円	2億3,783万円	9.8%	6億5,983万円	27.2%
遠山財産区特別会計	50万円	29万円	57.4%	0.1万円	0.2%
上財産区特別会計	150万円	128万円	85.3%	1.4万円	0.9%
企業会計	58億3,994万円	22億4,153万円	38.4%	20億6,028万円	35.3%
水道事業会計	収益的収支 9億4,405万円 資本的収支 6億5,880万円	4億1,458万円 6,885万円	43.9% 10.5%	2億2,119万円 5,889万円	23.4% 8.9%
病院事業会計	収益的収支 36億2,940万円 資本的収支 1億4,416万円	15億5,293万円 0円	42.8% 0.0%	15億5,033万円 1,961万円	42.7% 13.6%
介護老人保健施設事業会計	収益的収支 4億3,490万円 資本的収支 2,863万円	2億0,517万円 0円	47.2% 0.0%	1億9,607万円 1,419万円	45.1% 49.6%

市債と基金
市民一人当たり64万5千円の市債残高
9月末時点での市の借金(地方債)は一般会計で365億5,181万円、市民一人当たり64万4,562円となっています。このうち、およそ半分は地方交付税として手当てを受ける約束となっていますので、実際の負担は半分となります。一般会計の地方債のほとんどは施設整備にかかる借金ですが、国の交付税財源を補うためのものなど54億8,605万円は収入の赤字を補ってんする借金となっています。

貯金(基金)は、一般会計の積み立て基金で65億3,794万円、市民一人当たり11万5,291円です。運用する基金、特別会計、企業会計の基金もあわせて、総額では96億2,131万円となっています。(表2参照)

補正予算の状況
鏡山市営住宅建設など8億2千万を補正
一般会計の主な補正項目としては、平成17年から18年度まで

表2 市債と基金の状況(平成17年9月30日現在)

区分	市債残高
一般会計	365億5,181万円
特別会計	198億9,787万円
国民健康保険(施設勘定)	3億4,658万円
介護保険(サービス事業勘定)	4億7,141万円
簡易水道事業	66億0,111万円
農業集落配水事業	26億0,166万円
駐車場整備事業	3億1,148万円
下水道事業	95億6,564万円
企業会計	45億3,672万円
水道事業	21億5,907万円
病院事業	15億3,836万円
老人保健施設	8億3,929万円
市債総計	609億8,640万円
区分	積立高
積み立てる基金	82億0,122万円
<一般会計に属する基金>	65億3,794万円
財政調整基金	26億1,024万円
減債基金	2億9,329万円
公共施設整備基金	8億7,440万円
市民のまちづくり基金	4億9,911万円
地域福祉基金	9億0,988万円
その他の基金	13億5,102万円
<特別会計に属する基金>	16億6,328万円
国民健康保険給付基金	6億6,196万円
介護保険給付基金	2億1,016万円
その他の基金	7億9,116万円
運用する基金	11億4,643万円
土地開発基金	9億5,555万円
奨学資金貸与基金	1億5,197万円
家畜貸与基金	2,286万円
高額療養費貸与基金	1,604万円
企業会計の基金	2億7,367万円
基金総計	96億2,131万円

の2年間で予定していた鏡山市営住宅の建設事業を17年度の事業としたこと(3億2,283万7千円)や、市内全域をカバーするケーブルテレビを整備するための設計や運営する会社の設立にかかる経費(7,500万円)の追加、また9月に行われた衆議院議員選挙経費(385,500万円)、7月1日および8月5日の豪雨災害の復旧費(811万5千円)、庁舎の耐震補強設計、アスベスト対策(調査経費)など、計画内容の変更や年度当初では見込めなかった事業、災害のためなどにより補正予算を

編成しています。
一般会計では、当初予算に補正で6億6,811万円追加したほか、繰越事業が1億5,083万円あり、これをあわせた予算総額は281億9,894万円に上っています。特別会計、企業会計をあわせると、総額では526億4,005万円となり、この予算を使って市役所の事業が進められています。(表3参照)

会計別予算の執行状況
特別会計は全体で42・5%の支出率
特定の事業を行うのに、市の

財布の中身を区分けして経理してはいますが、これが特別会計です。企業会計は、収支のバランスをとって市が経営していく事業です。
特別会計は、一般会計と同様、建設事業の多い会計は収入率・支出率とも低くなっています。
企業会計は、いずれも収益的収入は40割台となっています。(表4参照)

問い合わせ 財務課財政係 26-2111(内線351)